

中核市移行の検討に必要な職員体制

1 平成 29 年度 (2017 年度)

<平成 28 年 6 月特別委員会資料 6 より>

部 門	人 数	職 種
所属長	1	事務職
企画	3	事務職 3
保健・衛生	3	事務職 1、保健師 2
環境	1	化学職
合計	8 人	



<現在の体制>

所 属	職種・人数	業 務 内 容
行政経営部 企画財政室 中核市移行準備 グループ	事務職 4 保健師 1	中核市移行に関する全ての業務
合計	5 人	

2 平成 30 年度 (2018 年度) ~ 平成 31 年度 (2019 年度) の職員体制案

<平成 28 年 6 月特別委員会資料 6 より>

部 門	人 数	職 種
所属長	1	事務職
企画	3	事務職 3
環境	2	事務職 1、化学職 1
保健・衛生	5	事務職 2、保健師 2 薬剤師 1
合計	11 人	



<現時点での予定>

所 属	職種・人数	業 務 内 容
行政経営部 企画財政室 中核市移行準備 グループ	事務職 4 化学職 1	<ul style="list-style-type: none"> ・中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） ・化学職は、主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）
健康医療部 地域医療推進室 (仮称)保健所設置 準備グループ	事務職 4 保健師 2	保健所の設置にかかる業務全般 (移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など)
学校教育部 教育センター	指導主事 1	<ul style="list-style-type: none"> ・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画のたたき台の作成
合計	12 人	

※平成 31 年度 (2019 年度) については、今後の移譲事務の検討結果により、所管室課において増員が必要となる場合があります。